

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和8年1月1日～令和8年8月2日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	189	29	3	81	102	215
令 和 7 年	200	31	3	97	95	226
前 年 同 期 比	-11	-2	0	-16	7	-11

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	24	12.7%	1	1	11	17	30
	後立山	61	32.3%	16	1	23	34	74
	その他	22	11.6%	1	0	16	7	24
計		107	56.6%	18	2	50	58	128
中央アルプス		10	5.3%	0	0	4	7	11
南アルプス		4	2.1%	1	0	2	1	4
八ヶ岳連峰		22	11.6%	5	0	8	11	24
その他の山岳		46	24.3%	5	1	17	25	48
計		189		29	3	81	102	215

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	52	27.5%	10	1	43	1	55
転 倒	33	17.5%	0	0	32	1	33
病 気	14	7.4%	6	0	0	8	14
道 迷 い	25	13.2%	0	0	0	35	35
落 石	1	0.5%	0	0	1	0	1
雪 崩	3	1.6%	2	0	1	0	3
落 雷	1	0.5%	0	0	1	0	1
疲労凍死傷	25	13.2%	2	0	0	26	28
不明・他	35	18.5%	9	2	3	31	45
計	189		29	3	81	102	215

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	1	5	6	38 26.0%	0	0	1	3	4	21 30.4%	10	59 27.4%
20代	2	0	4	15	21		0	0	1	5	6		27	
30代	1	0	4	6	11		1	0	2	8	11		22	
40代	4	0	10	8	22	48	1	0	2	1	4	21	26	69
50代	5	0	11	10	26	32.9%	1	0	11	5	17	30.4%	43	32.1%
60代	9	1	10	18	38	60	2	0	5	4	11	27	49	87
70以上	3	2	9	8	22	41.1%	0	0	10	6	16	39.1%	38	40.5%
計	24	3	49	70	146		5	0	32	32	69		215	
比 率	67.9%						32.1%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（7/27～8/2）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
7月27日	北アルプス 燕岳	男	53	負傷	転倒	単独で合戦尾根を下山中、第一ベンチ付近で、足がもつれてバランスを崩し、転倒、負傷
7月27日	北アルプス 燕岳	女	73	負傷	転倒	単独で合戦尾根を下山中、第三ベンチ付近で、足がもつれてバランスを崩し、転倒、負傷
7月27日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	70	負傷	転倒	単独で蝶ヶ岳から三俣へ下山中、蝶沢付近で、杭につまずき、転倒、負傷
7月28日	北アルプス 常念岳	男	20	負傷	転倒	12人パーティで蝶ヶ岳から横通岳方面へ縦走中、掴んだ岩が足へ落下し、転倒、負傷
7月28日	北アルプス 常念岳	女	63	無事救出	疲労	4人パーティで蝶ヶ岳から横通岳方面へ縦走中、風雨に晒され、低体温症で、行動不能
7月28日	北アルプス 小蓮華山	男	68	無事救出	疲労	単独で樽池から入山し白馬岳へ向け登山中、小蓮華山付近で、風雨に晒され、低体温症で、行動不能
7月28日	北アルプス 北穂高岳	男	65	無事救出	疲労	15人パーティで南岳から北穂高岳へ向け縦走中、大キレット付近で、風雨に晒され、低体温症で、行動不能
		男	67			
		男	56			
7月28日	北アルプス スバリ岳	男	70	無事救出	疲労	4人パーティで爺ヶ岳から針ノ木岳へ縦走中、スバリ岳付近で、風雨に晒され、低体温症で、行動不能
7月28日	北アルプス 餓鬼岳	女	71	無事救出	疲労	単独で餓鬼岳から白沢登山口へ向け下山中、魚止めの滝付近で、滑落、負傷
7月29日	北アルプス 常念岳	男	43	負傷	転倒	単独で一ノ沢から入山し、常念岳に登頂後、横通岳方面へ縦走中、浮き石でバランスを崩し、転倒、負傷
7月30日	北アルプス 水俣乗越	男	39	負傷	滑落	2人パーティで西岳から槍ヶ岳方面へ縦走中、水俣乗越付近で、スリップし、滑落、負傷
7月30日	霧ヶ峰高原 車山肩付近	女	86	負傷	転倒	3人パーティで車山肩付近を登山中、ぬかるみでスリップし、転倒、負傷
7月30日	北アルプス 涸沢周辺	男	72	無事救出	発病	単独で上高地から入山し、涸沢周辺の山小屋で宿泊中、体調不良のため、行動不能
7月30日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	男	62	行方不明	不明	2人パーティで鹿島槍ヶ岳から五竜岳方面へ縦走中、鹿島槍ヶ岳南峰付近で、スリップし、滑落
7月30日	北アルプス 野口五郎岳	男	73	死亡	不明	単独で三ツ岳から野口五郎岳の間を登山中、何らかの原因により、行動不能
7月30日	ハヶ岳連峰 天狗岳	男	77	負傷	滑落	2人パーティで根石岳から東天狗岳方面へ登山中、スリップし、滑落、負傷
						上記遭難現場写真

7月30日	南アルプス 易老渡	男	68	死亡	不明	単独で易老渡付近に登山中、何らかの原因により、行動不能
7月31日	北アルプス 水俣乗越	男	43	無事救出	滑落	単独で西岳から槍ヶ岳方面へ縦走中、水俣乗越付近で、スリップし、滑落、行動不能
7月31日	北アルプス 北穂高岳	男	26	無事救出	その他	2人パーティで涸沢から北穂高岳へ向け登山中、北穂高岳東稜付近で、斜面に荷物を落とし、取りに向かったところ、技量不足により、行動不能
						上記遭難現場写真
7月31日	御嶽山 サイノ河原	男	76	負傷	転倒	2人パーティで御嶽山へ入山し、サイノ河原周辺に登山中、岩につまずき、転倒、負傷
						上記遭難現場写真
8月1日	南アルプス 鋸岳	男	36	負傷	滑落	単独で鋸岳からミツ頭方面へ下山中、バランスを崩し、滑落、負傷
						上記遭難現場写真
8月2日	北アルプス 北穂高岳	男	72	行方不明	不明	7/23単独で上高地から入山し、7/27北穂高岳周辺の山小屋に宿泊後、行方不明。

8月2日	ハケ岳連峰 縞枯山	男	63	死亡	不明	2人パーティで縞枯山から下山中、何らかの原因により、行動不能
8月2日	北アルプス 唐松岳	男	63	負傷	転倒	2人パーティで八方尾根から唐松岳に向け登山中、バランスを崩し、転倒、負傷
8月2日	霧ヶ峰高原 沢渡付近	女	79	負傷	転倒	2人パーティで、霧ヶ峰高原沢渡付近を登山中、スリップし、転倒、負傷
8月2日	北アルプス 常念岳	男	33	無事救出	疲労	2人パーティで蝶ヶ岳から常念岳方面へ縦走中、常念岳南方の稜線上で、疲労のため、行動不能
		女	23			

先週県内では、26件の山岳遭難が発生しました。

天候が悪化した週の中頃には、槍・穂高連峰や後立山連峰周辺の山域で、悪天候（暴風雨）の中行動した登山者による疲労遭難（低体温症）が相次いで発生しました。

夏場であっても、北アルプス等の高山帯では、悪天候下の「稜線の縦走」や「長時間に及ぶ行動」は、命に直結する遭難の可能性が高まります。

風速1m/sごとに体感温度は1度低下します。森林限界を超えた稜線で、強い風雨にさらされ、全身が濡れると、夏場であっても急激に体温を奪われ、低体温症になります。思考力や判断力も低下し、休憩（補給）もままならず、体温や疲労を回復させるエネルギー源が体内から枯渇し、結果的に行動不能に陥ります。

登山の基本として、悪天候時の稜線歩きは、「避けるべきリスク」です。遭難のリスクが増している中、無理をして計画通りの登山を強行する必要はありません。

もしも悪天候下で遭難した場合、ヘリは飛ばず、地上でもすぐに救助には向かえません。助けが来るまでの間、自身でその場を凌ぎきるしかありません。悪天候時に行動するなら、当然、万が一に備えた装備（ビバークセットや非常用具）を携行し、適切なタイミングで使用する判断が出来なければなりません。登山前に、今一度装備を確認しましょう。

悪天候なら停滞・下山。計画にも気持ちにも、ゆとりを持った行動を心がけてください。